

事件番号 甲事件:平成19年(行ウ)第32号

乙事件:平成20年(行ウ)第3号 設楽ダム公金支出差止等請求事件

原告 甲事件:市野和夫 外167名 乙事件:市野和夫 外7名

被告 甲事件:愛知県知事 外1名 乙事件:愛知県知事

「自然に優しい設楽ダム建設」を検証する

2009.12.07

市野和夫

宇連川上流部(宇連ダム下流域)の川床の状況

岩盤の上に浮石が転がる、砂がほとんどない。



宇連川 大野頭首工(豊川用水取水堰)から上流方向を見る

高さ二十六メートルの堰堤による堰き止め湖



宇連川 大野ダム湖尻の堆砂状況

多量の堆砂で川床が上昇、落葉も堆積している



宇連川 大野頭首工直下の状況

豊川用水への取水により、年間180日程度流量なし



寒狭川 布里発電所取水堰地点の状況

この堰より下流を寒狭川下流域と呼ぶこととする



寒狭川下流 寒狭川頭首工(左岸側から)の状況

建設に際して、貯水容量確保のため川底を浚渫した



寒狭川下流 寒狭川頭首工下流の状態

瀨の部分から砂利が失われて大きな浮石と岩盤が目立つ
完成から10年経過



寒狭川上流部 設楽町竹桑田

川原や、水中の転石を埋める砂利が豊富に存在

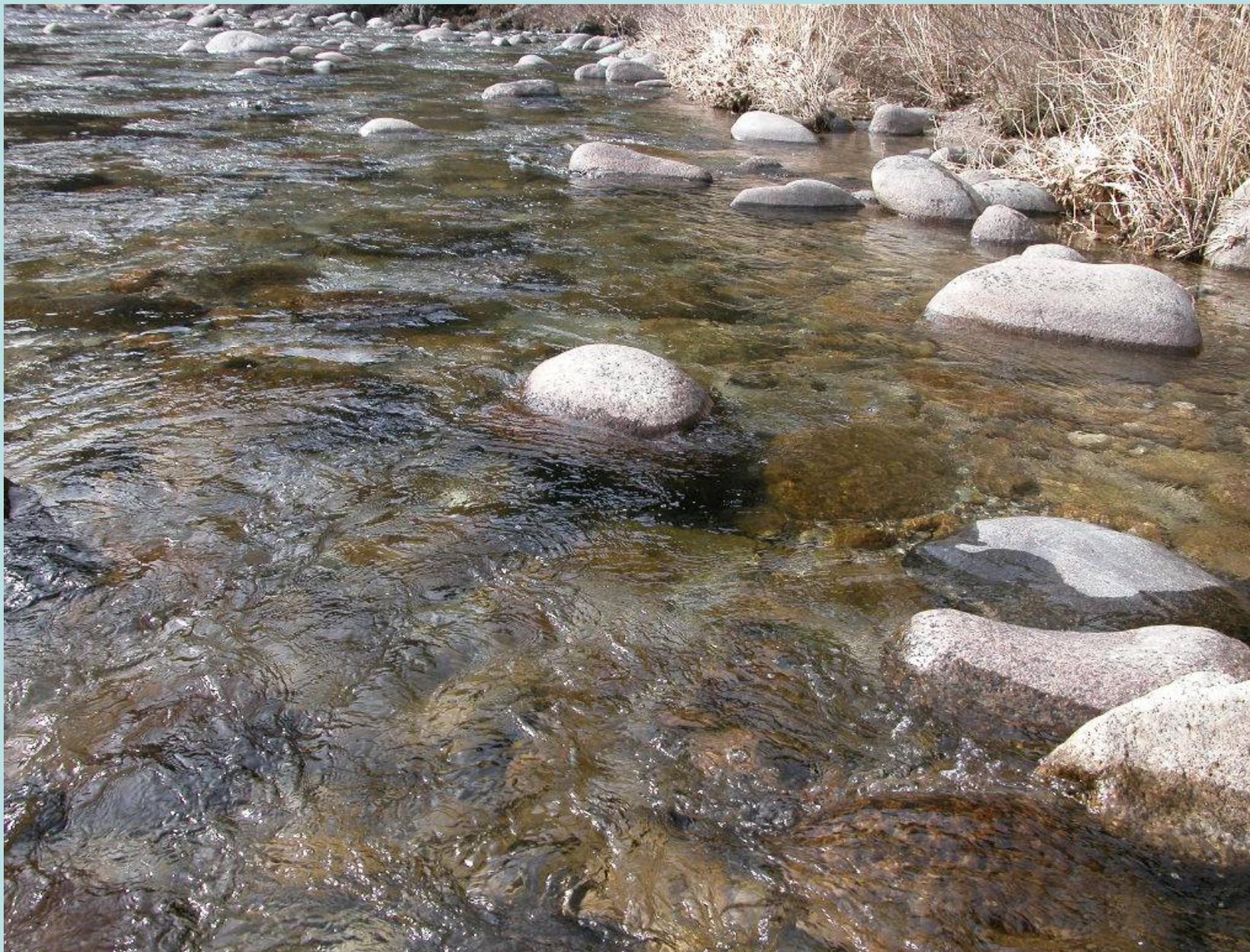


寒狭川上流部 布里より上流の自然な流れ

（新城市恩原）
瀬と淵の繰り返しが続く、川原も発達している



寒狭川上流部 布里より上流の瀬の状態



瀬に堆積した丸い転石と埋め尽くす

さまざまな粒径の砂礫 (新城市棒夫)

設楽ダム予定地下流の豊川(寒狭川)の河床の状況 (環境影響評価書 6.1.7.4予測結果 6.1.7-140)

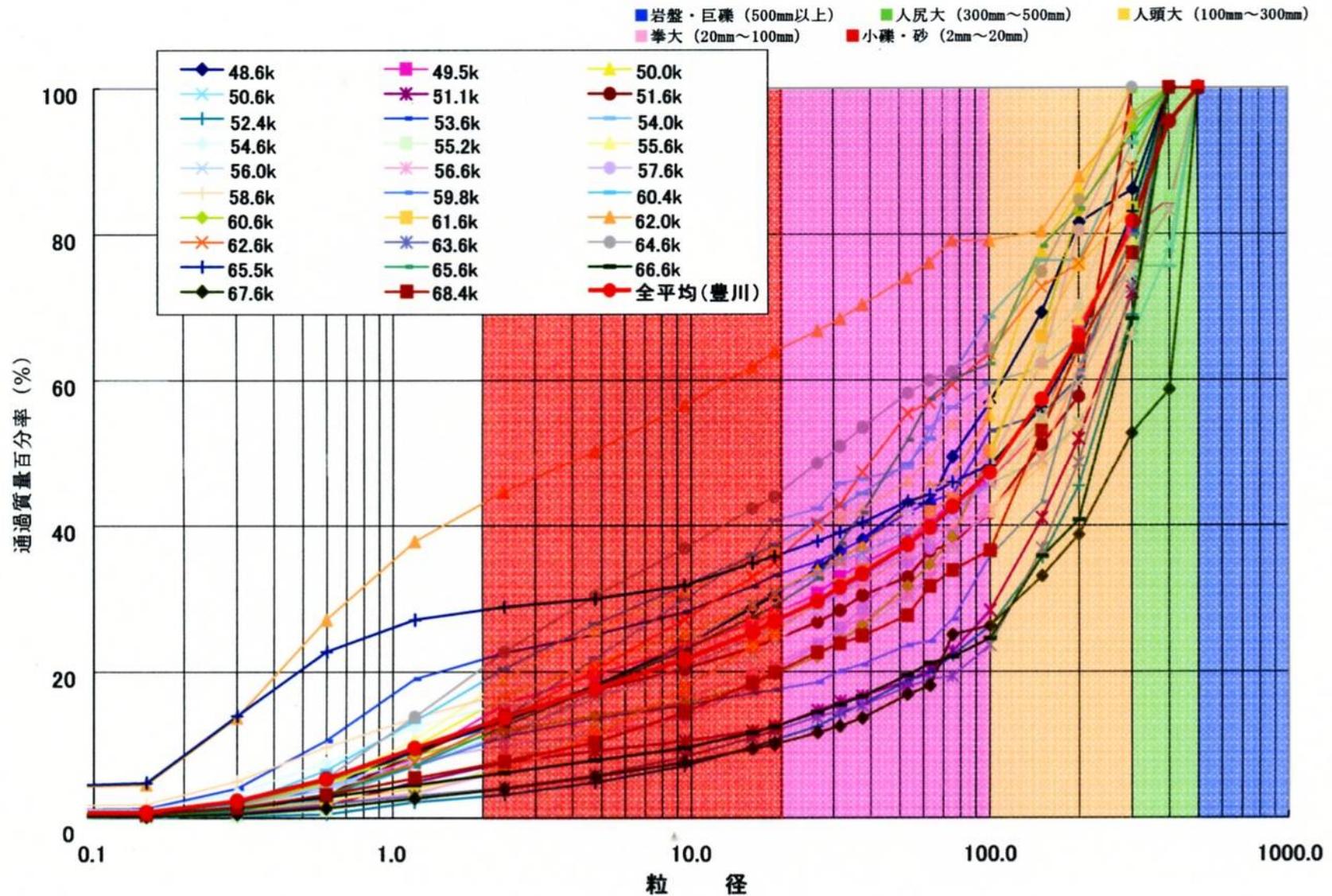
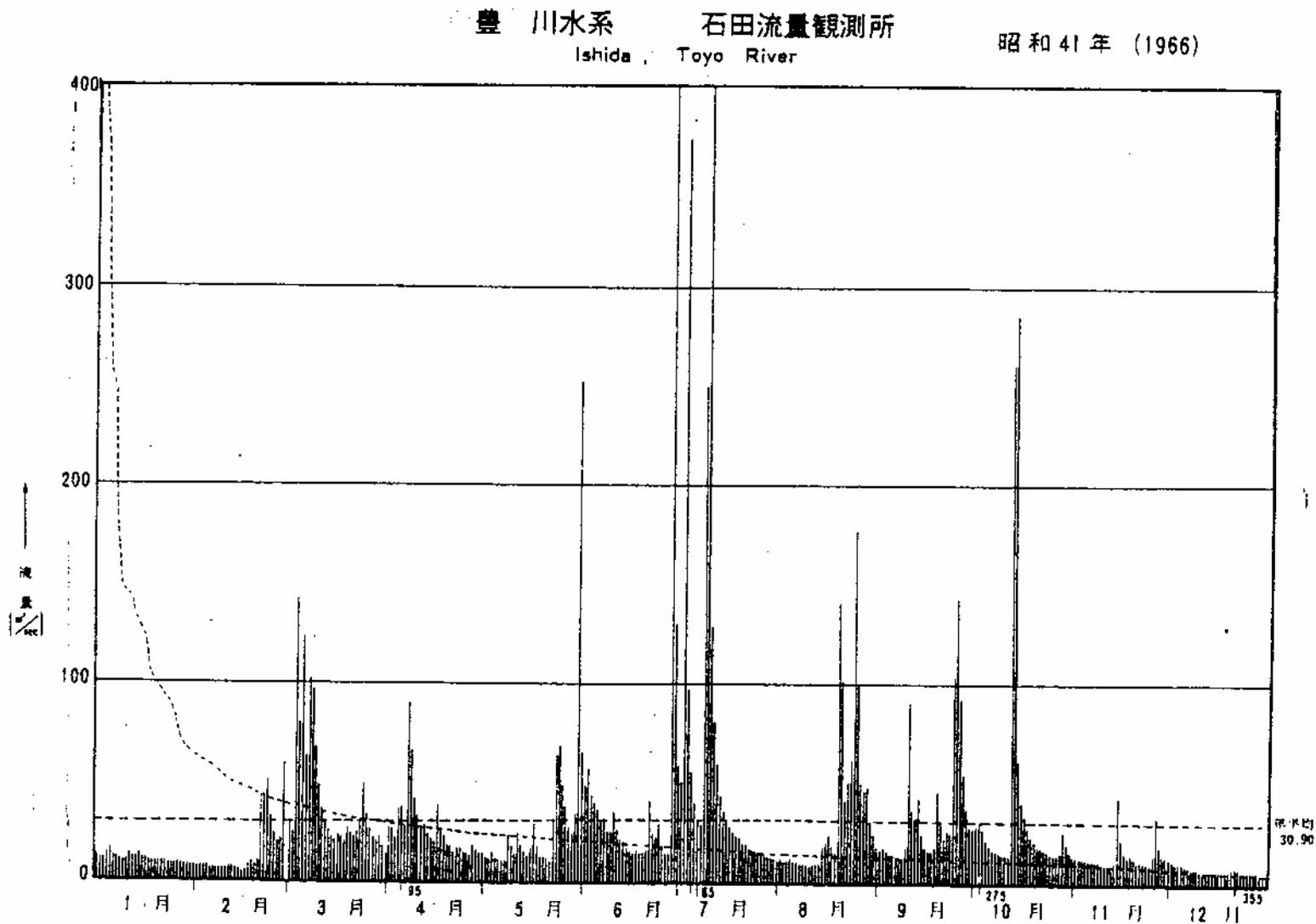


図 6. 1. 7-53 (1) 河床構成材料の粒径加積曲線(豊川)

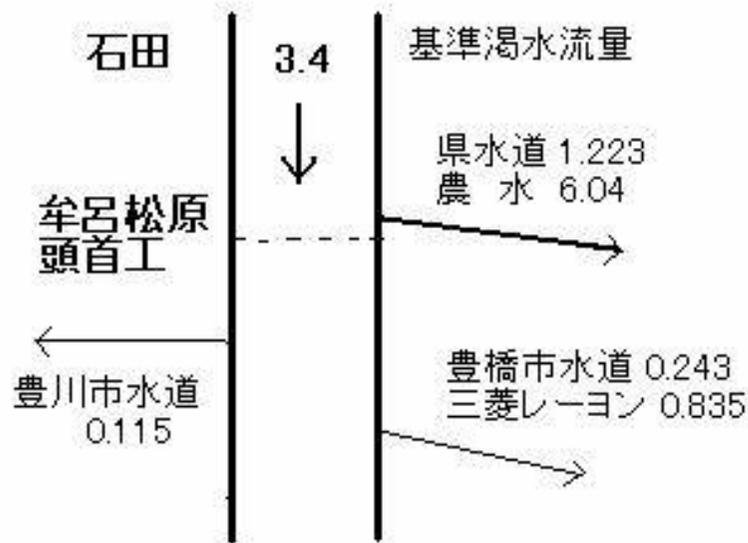
豊川の日流量図(1966年) 石田 流量年表より

豊川用水完成前

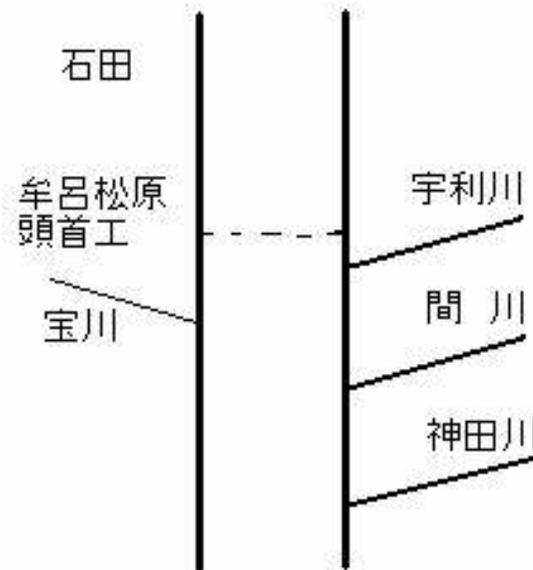


牟呂松原頭首工直下の正常流量 2.0 5.0 m³/秒について

- ・石田基準点における基準濁水流量 3.4 m³/秒
- ・牟呂松原からの県水道 1.223 m³/秒の取水 (農水:慣行水利 6.04)
- ・下流 1.193 m³/秒の取水
- ・支流の流入状況

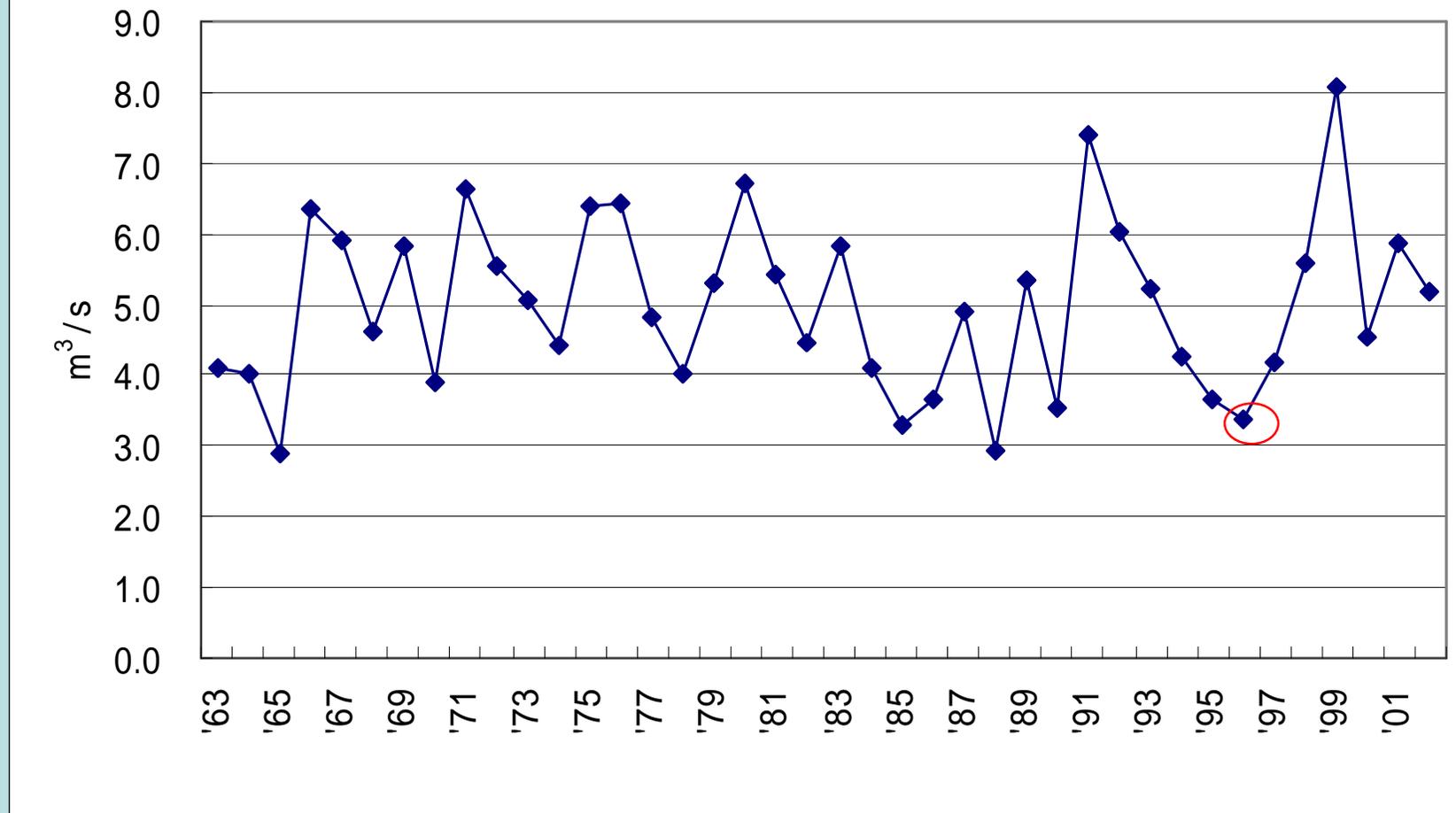


取水量はいずれも最大値
単位: m³/秒



取水地点付近で豊川に合流する支流

湧水流量の推移('63~'02、石田地点)



湧水流量： 1年365日の日平均流量のうち、多いほうから355番目の日平均流量(単位 m^3/s)

基準湧水流量： ある地点で10年で1番(40年で4番)に少ない湧水流量で、正常流量の目安とされる。

石田地点40年間のデータから、平均湧水流量： $5.0 m^3/s$ 、 **基準湧水流量： $3.4 m^3/s$**

一般に、

基準渇水流量 正常流量

正常流量 = 既得水利流量 + 河川維持流量

取水制限流量は、取水によって正常流量を下回ることをないように取り決めた流量。

流量が制限流量を下回る状況において、取水するためには、ダム等の水源施設から放流して、取水地点で制限流量を上回るようにしなければなりません。